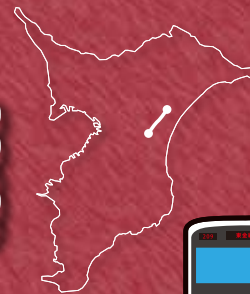




鉄道で行く千葉



第8回

JR東金線

Togane Line



JR東金線を成東方面に向かって走る、209系 普通電車(大網～福俵間)

**JR東金線は、山武郡大網白里町の大網駅から
九十九里海岸の玄関口、山武市(さんむし)の成東駅へと至る
県内のJR路線で距離が一番短い
13.8km、5つの駅からなる単線の路線です。**



水田の代掻き(しろかき)が済み、田植えを待つのかな田園地帯を大網駅から成東駅に向かって走る、211系 普通電車(福俵駅手前)

現在活躍中のJR東金線の車両



(普通)209系2000番台

現在活躍する113系・211系の後継として2010年3月から新しく登場した車両です。車体がとても軽く、使用電力が少ないのが特長。トイレも設置されています。



(普通)211系3000番台

211系は、1985年に登場した車両です。東金線には、2006年10月から投入され、黄色と青の帯は房総カラーとして親しまれています。



(普通)113系

JR内房線、外房線、総武本線で活躍する113系のお馴染みの車両は、ここ東金線でも活躍中です。この車両の世代交代を惜しむ鉄道ファンが多く人気の車両です。



(快速)201系

朝晩の通勤・通学の時間帯に東金線に乗り入れる京葉線の車両です。この車両は通勤快速として使用され、外房線～京葉線経由の東京駅行きです。明るいブルーのデザインが目印です。

E233系5000番台



(写真:試運転で京葉線を走るE233系車両)

**今年夏頃から
運用開始予定の
新車両**

2010年の夏頃から東金線に順次導入される最新型の車両です。京葉線・外房線・内房線とともに導入されます。

JR東金線は九十九里浜の海岸線に沿うように少し内陸部を走る短い路線です。

JR東金線の元となったのは、1896年(明治29年)に開業した房総鉄道です。最初は、大網駅～東金駅間で開業し、のち国有化によって東金線という名称になりました。

大網駅でJR外房線に、また成東駅でJR総武本線に接続し、両路線を結ぶ役割を果たしています。京葉線経由で走る東京方面への通勤快速は、朝晩の各1本だけの運行にもかかわらず、蘇我駅以降の停車駅数が極端に少ないこともあって、通勤・通学の足として沿線利用者から重宝されています。また沿線には近年、大学が新設されたり、多くの住宅が建てられるようになったことから乗降客は年々増加傾向にあります。

ローカルな雰囲気沿線の、最初はなだらかな土地が中心で車窓にはのんびりとした田園風景が続きますが、途中東金線の中心的な駅である東金駅付近では、ショッピングセンターや住宅地が広がり賑やかさを感じさせます。そして再び、田園風景の中を走り終点の成東駅に到着します。

◆東金線の歴史

- ◎1896年(明治29年)1月20日
房総鉄道開業(蘇我～大網駅間)に伴い大網駅設置
- ◎1900年(明治33年)6月30日
房総鉄道として大網駅～東金駅間開通
- ◎1907年(明治40年)9月1日
鉄道国有法により買収。官設鉄道に編入
- ◎1909年(明治42年)10月12日
東金線へと名称変更
- ◎1911年(明治44年)11月1日
現在の東金駅～成東駅間が全線開通
- ◎1973年(昭和48年)9月28日
全線電化
- ◎2010年(平成22年)3月13日
209系2000番台電車の運用開始

201系の通勤快速が4両編成の理由？

東金線の上りの通勤快速は4両編成(左/写真)で走行しています。嘗田駅～東京駅間は、勝浦方面から来た外房線の6両編成の列車と嘗田駅で併結して10両編成となり東京駅へ運転されています。また、下りは逆に東京駅から来た10両編成を嘗田駅で切り離し、4両編成で東金線に戻っていきます。そのため、この列車に関連する運用のみ分割併合に対応した201系が充当されているのです。

※通勤快速は、平日のみの運行となっています。

スペシャルビューポイント



満開の桜と由緒あるお寺。

JR大網駅を出て数分、福俵駅に向かって右側をよくご覧ください。突然、水墨画から抜け出したような池とお寺の風景が目飛び込んできます。これは宝珠山蓮照寺という名で、上総十ヶ寺の一つという由緒あるお寺です。



大網駅を出てしばらく走ると、右側に広々とした水田が広がります。夏には一面稲穂の緑が広がります。



福俵駅を出て、東金駅に向かって左側に昔ながらの広々としたグラウンド。東金市立西中学校です。



JR東金線、大網駅のホームに立つと、まず目に飛び込んでくるのが駅前の進行方向右にそびえ立つ白い2棟のマンション。高層ビルがほとんど見当たらない風景の中、ひととき目立つ存在です。



東金駅ホームから、求名駅に向かって右側の東口には大きな百貨店やスーパーが立ち並んでいます。反対に左側、西口の商店街には、東口とは対照的に大きな建物はほとんど無く、昔懐かしい昭和の佇まいをそのまま残した古い建物がたくさん残っています。



JR東金線に乗って。

JR東金線には大きく2つの風景があります。千葉市方面へのアクセスの便利さを生かしたベッドタウンの風景。そして広々とした田園地帯の風景。100年以上の歴史がある路線のため、昔の痕跡が駅の近くに残されていたり、車窓から見える場所にも存在しています。



大網駅を出てすぐ。右手には、金谷踏切という踏切があり、その脇に本線から枝分かれした100mほどの線路。これは旧大網駅から外房線につながっていた線路の跡です。



▲公園内の看板

金谷踏切を過ぎてすぐ、福俵駅に向かって右側に見える公園。ここは旧大網駅の跡地です。明治29年(1896年)1月20日、房総鉄道の開業とともに設置された旧大網駅は、当時スイッチバック※の方式がとられ、千葉から大網までと大網から一宮方面まででは、列車の前後が入れ替わりました。これを解消するため昭和47年(1972年)5月27日に設置されたのが、数百メートル離れた場所に作られた現在の大網駅です。

※スイッチバック：昔の電車(機関車)等は急勾配などで馬力が足りず、上がりきれませんでした。そこで、Z型に上っていくことにより、頂上を目指していきました。箱根登山鉄道などが一番有名です。旧大網駅では、土気〜大網間に大きな高低差があるため必要でしたが、現在ではスイッチバックをせすに行けるようになっていました。昔は貨物輸送も行っており、機関車(電化前はSL)の馬力も今の車両より小さかったので、スイッチバックをせざるを得なかったのです。



求名駅を出て成東駅に差し掛かる手前。線路を横切るように作田川が流れています。



作田川を過ぎてすぐ。左側を少し見上げると視界に入るのが、石塚山の中腹にある通称「波切り不動さま」といわれる真言宗のお寺です。

●東金線で発見したお手軽グルメ&お土産！

大網駅構内

パブリコ「小倉屋」



●せぐろいわしの胡麻漬
1パック ¥1,050(税込)

せぐろいわしの胡麻漬は、九十九里浜で獲れた新鮮ないわしを使った特産品。胡麻の風味が効いた酢漬けのいわしは、ご飯にもお酒の肴にも相性バツグン。

(製造元:山武郡九十九里町(有)まるに古川水産)

成東駅徒歩約5分

菓子処 橋本



●左千夫最中(10個入)
¥1,200(税込)

旧成東町はあの「野菊の墓」の作者、伊藤左千夫誕生の地。ご当地ならではの作品にちなんだ野菊の形の最中です。中のあんこは、柚子あん・粒あん・黒糖あんがあります。

JR東金線の、家族で出かけられる遊び場情報



鉄道で 出かけよう!

車窓からの風景や道草を思い切り楽しんだら、今度は本格的に遊べる場所を訪ねてみましょう。電車を使えばすぐに出かけられ、家族で思い切り楽しめるポイントをご紹介します。

伊藤左千夫記念公園&伊藤左千夫の生家(歴史民俗資料館)

成東駅のある山武市(さんむし)には、伊藤左千夫ゆかりの場所が存在します。成東駅から徒歩10分程のところにある伊藤左千夫記念公園もその1つ。公園の中央には「野菊の墓」の主人公、政夫と民子の像が建っています。

公園から野菊路とよばれる散歩道を5分ほど歩くと、伊藤左千夫の生家が残されている山武市歴史民俗資料館があります。資料館には、伊藤左千夫の生涯と作品、遺品、同人たちとの関わりを示す資料などが展示されています。

その隣には、茅葺き屋根の伊藤左千夫の生家があります。家の間取りがそのまま残されており、当時の生活の面影を知ることができます。



▲山武市歴史民俗資料館
(この建物の裏側に伊藤左千夫の生家があります)



▲伊藤左千夫記念公園の
政夫と民子の像

(伊藤左千夫記念公園)

- 料 金/入園自由
- 交 通/JR成東駅より徒歩10分
- 住 所/〒289-1324 山武市殿台264-1

(伊藤左千夫の生家(山武市歴史民俗資料館))

- 開館日/火曜日～日曜日
午前9時～午後4時30分
- 休館日/月曜日・祝祭日の翌日
※月曜日と祝祭日が重なる場合は、月曜日開館、火・水曜日が休館日になります。
年末年始・展示替・資料移設等作業時
- 入館料/学生・一般130円、小・中・高校生80円
- 交 通/JR成東駅より徒歩15分
- 駐車場/あり 乗用車10台、大型バス2台(無料)
- 問い合わせ/0475-82-2842
※午前8時30分～午後5時30分
(休館日を除く)
- 住 所/〒289-1324 山武市殿台343-2
- 公式サイト(http://www.city.sammu.lg.jp/sisetu/rekishi/reki_frame.htm)



▲伊藤左千夫の生家

懐かしいSLの部品が
展示してあります。



山武市歴史民俗資料館の入口に、国鉄時代に活躍した蒸気機関車、C58の前照灯付きの煙室扉やプレート等が展示してあります。

九十九里浜

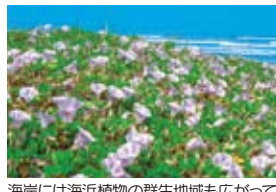
九十九里浜は、房総半島東岸、太平洋沿いに面した全長約66キロメートルの海岸です。日本の白砂青松100選や日本の渚百選にも選ばれている浜辺で、毎年夏ともなれば千葉県内はもちろん、他県からも多くの海水浴客が訪れます。



夏には大勢の海水浴客でにぎわいます。



白里海岸には毎年たくさんの人が初日の出を見に訪れます。



海岸には海浜植物の群生地域も広がっており、5月中旬頃から咲くハマヒルガオなども見ることができます。

駅前発見! 探してみよう!

大網駅前の橋にいた女の子3人のレリーフ

JR大網駅の改札を出て左。ロータリーにあたら右へ歩くと、50mほどのところに川が流れています。そこにかかる橋の名前は「おおあみえきまえばし」。さて、その橋の柵にご注目。そこには、橋から川を覗き込むような、かわいい小さな女の子3人の後ろ姿が刻まれたレリーフが飾られています。これを見つけたら、回り込んでぜひ反対側からもご覧ください。今度は女の子3人の表情を見ることができます。



◀橋の内側から見たレリーフ

橋の外側から見たレリーフ ▶



調べてみよう! 東金線クイズ?

成東駅近くで売っている、伊藤左千夫ゆかりのお菓子は?

- 1.野菊チョコレート
- 2.左千夫せんべい
- 3.左千夫最中

※正解は次号紙面で!

房総半島の最西端にある灯台の名前は「3」の洲埼灯台でした。